

かみむら かずこ
神村 和子さん(写真左から2人目)



Profile

串間リングプルネットワーク代表。30年ほど前からリングプルの収集活動を始め、これまで市内3カ所の社会福祉施設などに車いすなどを贈呈。

リングプルを集めて 車いすなどに交換し 社会福祉施設などに贈呈

皆さん、「リングプル」という言葉を聞いたことはありますか？リングプルとは、缶ジュースや缶ビールなどの飲み口を開けるときに指をかけて引く、つまみの部分のことです。

このリングプルを集めて車いすなどと交換し、市内の社会福祉施設などに贈呈している「串間リングプルネットワーク」という市民団体があります。

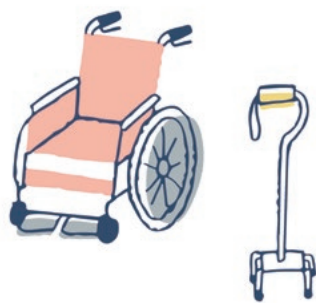
代表を務める神村和子さんは、約30年前に「リングプルを集めると車いすがもらえる」という話を聞いて、「地域に恩返しをしたい」と思ったのがきっかけで個人で収集をスタート。2005年に同ネットワークを立ち上

げ、本格的に活動を始めました。現在は、串間地区更生保護女性会や寺里自治会などの協力を受けながら、資源ごみ回収の日を中心に収集を行っています。

これまで、串間市民病院、特別養護老人ホーム「望洋の郷」の2カ所に車いすの贈呈を行っており、今年の10月19日に、障がい者支援施設「あすか園」に四輪歩行器2台を贈呈しました。歩行器の交換には900キロ分のリングプルが必要で、約6年かけて集め、北海道江別市にある非営利団体「リングプル再生ネットワーク」に送り交換したそうです。

神村さんは「喜んで使ってもらえ

たらうれしい。また、いろいろな人の協力のおかげでこの活動ができており、感謝の気持ちでいっぱい。この活動をみんなに知ってもらえたらうれしい。今後も頑張っていきたい」と話していました。



今月のテーマ展示
「クリスマス」特集

今年もクリスマスがやってきます。子どもたちがワクワクするようなクリスマスに関する絵本を、古いものから新しいものまで展示します。たくさんの絵本、ツリーやかわいい置き物などで、クリスマス気分を盛り上げて、皆さまのお越しをお待ちしております。



今月のテーマ展示
「年間ランキング」特集

早いもので、いよいよ1年の終わりが近づいてきました。今年、串間市立図書館ではいったいどんな本がよく読まれたのでしょうか？今年1年で最も読まれた本を、一般向け・児童向けごとにランキングにご紹介、展示します。



「毎日世界が生きづらい」
宮西真冬／著

子どもを産んで、作家になれなくて、「子どもがいなかったら作家になれたのに」なんて言うような大人にはなりたくないの——。夢を叶えたい私、夢を語らないあなた。小説家と会社員、2人の幸せを探す物語。



- 串間市立図書館
☎ 72-1177
- 開館＝午前10時～午後6時
- 休館日＝毎週月曜日
- HP＝<https://www.city.kushima.lg.jp/library/index.html>

新刊情報

- ・ 幻の旗の下に (堂場 瞬一／著)
- ・ らんたん (柚木 麻子／著)
- ・ レインメーカー (真山 仁／著)
- ・ ミルクとコロナ (白岩 玄／著)
- ・ 宿命(リベンジ) (石原 慎太郎／著)
- ・ あなたに安全な人 (木村 紅美／著)
- ・ 闇祓 (辻村 深月／著)
- ・ アニメおしりたんてい大じてん
- ・ 小説はたらく細胞2 (時海結似／著、清水 茜／原作・イラスト)

イベント情報

①クリスマスおはなし会

クリスマス関連の絵本のおはなし会。クリスマスプレゼントもご用意しておりますので、たくさんのご参加お待ちしております！

- 日時＝12月18日(土)午後2時～
- 参加費＝無料

②大人の趣味講座
「フラワーアレンジメント講座」

年末年始にふさわしい華やかなアレンジメントを作ります。

- 日時＝12月28日(火)午前10時半～
- 参加費＝500円 ● 定員＝8名
- 申込締切日＝12月15日(水)

※両イベント、新型コロナウイルス感染拡大に留意しながら開催します。詳しくは図書館までお問い合わせください。

「女性に対する暴力をなくす運動」って知っていますか？

毎年11月12日から11月25日までの2週間に行われている運動をご存じですか。ヒントは11月25日「女性に対する暴力撤廃国際日」。ピンとこなくても、ポスターやのぼり旗を見たような…という方もいるでしょうか。正解は「女性に対する暴力をなくす運動」です。

夫・パートナーからの暴力、性犯罪、売買春、セクシュアルハラスメント、ストーカー行為などの女性に対する暴力は女性の人権を著しく侵害するものであり、男女共同参画社会を形成する上で克服すべき重要な課題として、内閣府男女共同参画推進本部を筆頭に関係機関・団体は強く捉えています。

令和2年度「男女間における暴力に関する調査」の結果によると、配偶者から暴力を受けた経験がある女性は25.9%、交際相手からの暴力を受けた経験がある女性は16.7%も

います(男性は各18.4%、8.1%)※1。皆さんにとっても決して他人事といえる数字ではありません。

女性に対する暴力の根底には、女性の人権の軽視があることから、女性の人権の尊重のための意識啓発や教育の充実を図ることで課題の解決を目指しています。

令和3年度におけるテーマは「性暴力を、なくそう」。性暴力は、性別や年齢に関わらず起こっています。

- ・ 2人きりで食事をしたから
- ・ お互いにお酒を飲んでいたら
- ・ 家に呼んだら来てくれたから
- ・ 拒否されなかったから
- ・ 誘うような服装をしていたから

どんな言い訳を並べられても、相手が望まない性的な行為は性暴力です。

「性暴力を受けた。どうしよう」——「受けたことがあり、今もなお苦しめられている」——

一人で抱え込まないで、まずは性犯罪・性暴力被害者のためのワンストップ支援センター(＃8891(はやくワンストップ))に相談してみませんか。あなたのために、その窓口を開いています。



※1 「男女間における暴力に関する調査」
内閣府男女共同参画局、令和3年3月

【問い合わせ先】
総合政策課企画係 ☎ 55-1152